



2011-12 年度 R I のテーマ「心の中を見つめよう 博愛を広げるために」
 R I 会長 カルヤン・バネルジー (Reach Within to Embrace Humanity)
八戸南ロータリークラブ会報
 例会日：毎週木曜日 12：30 例会場：八戸パークホテル

ガバナー 小山内 康晴 会長 三川 博 幹事 榊 清蔵 会報委員長 岡山 明美
 ホームページ：<http://www.hi-net.ne.jp/~hsrclub/> Email：hsrclub@hi-net.ne.jp
 RI 第 2830 地区ホームページ：<http://www.rotary-aomori.org>

第 1773 回例会記録 ロータリー理解推進及びポールハリス追悼例会
 2012 年 1 月 26 日 (木) 点鐘 12：30

レポート NO.1236

1773 回例会要旨

- ・会長要件 (集団力学について)
- ・幹事報告
- ・各委員会報告 (出席・親睦)
- ・例会スピーチ 長嶺会員
- ・東日本大震災復興委員会報告 野澤委員長
- ・IM について 三川会長

ビジター

荒谷徳安様 (八戸東 RC)

会長要件 三川会長

集団力学、力量ともいいます。私達は集団の中で生活をしています。生まれてから今迄いろいろな集団の中で生きて来ています。生まれてすぐに家族、そして学校、職場と年齢と共にメインとなる集団は代わりますが、いろいろな集団にかかわりを持ち影響を受けて人生を送っています。集団力学は学問でもあり現象でもあります。集団力学は集団の特徴として色々な行動を起こしますが、その現象、集団力学は一般と特殊に分けられます。生活でおきるものは一般であり、特殊は特別な目標を設定した集団であり、機能を引き出しています。精神学的な中では集団精神療法があります。患者を集めて集団で治療をします。他に人間形成のためや職場などの自己啓発セミナー等特殊なカリキュラムで行う。そのような特殊な集団もあります。

集団を作った場合特殊な現象が起きます。どう言うことかと言うと、集団の力学の特性としてホメオスタシオ (恒常性) を求める本質があります。また集団の中で行動すると力動関係が生じます。退行と成熟。統合と分離。変化と安定。組織化と混沌化等正と負 (マイナス) が常に生じる可能性があります。実際、4) に書いてあるたくさんのおきる場



出席報告 木村出席委員長

正会員 43 名出席免除会員を除く会員 35 名中
 本日の例会は免除会員 3 名を含む 30 名出席率 79%
 前々回例会：メキップ 1 名で出席率 90%

合もあります。いいことがあったり悪い事があったりします。攻撃性の増大 トリックスターであったり、政治家のように派閥を形成したり、最終的に集団性の凝縮がおき、生産的で実り豊かなものになります。一致団結し生産的な物ができればよいのですが。(他の集団力学の諸相として：不安、退行、投影 転移、逆転移 修正感情体験 権威的リーダーの出現 依存の増大 多数決の嵐 少数派の密着 妄想、デマ)

しかし、一般と特殊がはっきりと分かれているものでもありません。カルチャーでも深い人間関係がおこる事もあり、一般も特殊なものを持っている場合があります。ではロータリーは？ロータリーも一般か特殊か分けられませんが、いろいろな可能性が見つけられます。

幹事報告 榊幹事

*2 月の行事です。2 / 2
 例会は 4 日の IM に変更。
 テーマは会員増強でフォーラム形式です。三川会長が参加。プラザホテルで 2 時です。



2 / 1 8 はよろず相談例会で夜です。パンフレットを持って行って PR して下さい。

ニコニコ・ボックス 松田親睦委員長

三川会長：長嶺会員本日はよろしく申し上げます。
 鈴木会員：1/24 今年度 3 人目、通算 5 人目の孫が生まれました。

ロータリー理解推進及びポールハリス追悼例会 長嶺会員
 1 月はロータリー理解推進月間です。ロータリーの友にポールハリスの記念写真等が載っています。
 第 40 回ロータリー研究会報告で『ロータリーの



綱領について』としてパネルジー R I 会長が綱領は私達が一番重視しなければならないものと言ひ、第 6 セッションの「綱領翻訳問題調査・検討委員会特別セッション報告」でも綱領の和訳について変えるべきとの意見が紹介され、ロータリーの時代に伴う変化の必要性とあります。ロータリーの友横 4P には「ロータリーとは」「ロータリーの綱領」「4 つのテスト」毎月同じ記事が載っています。これは基本中の基本で大事なものであると言う事で載っているのです。そこでロータリーの綱領の作られたときからのものを表に纏めて配布しました。時代と綱領の内容、そして手続要覧の一覧です。

綱領を読んでも難解の文章かと思ひます。第 1 奉仕の理解として知り合いを広めることはクラブ奉仕であり親睦を含んでいます。第 2 の専門職務の道徳的水準を高める事とし、社会奉仕、職業奉仕、職業倫理を謳っています。第 3 のロータリアンすべてがその個人生活、事業生活および社会生活に常に奉仕の理想を適用すること。生きて行く上で社会や家族を愛すると言う事であり、第 4 は国際奉仕であります。こうして見て行くとロータリーの綱領は 4 大奉仕に繋がっているのではと思ひます。綱領と大げさに言いますが、4 大奉仕であり、四つのテストは生きて行く時の 4 つの判断基準だと思ひます。真実かどうか、皆に公平か、好意と友情を深めるか、みんなの為になるかどうか。そうする事で人生誤った方向に行かないのではと思ひます。私はロータリーとは何か？と聞かれたら 4 大奉仕と四つのテストだと思ひます。これらがロータリーの根本だと思ひます。

ロータリー綱領の変遷ですが、1905 年シカゴクラブが創立され 1906 年 1 月にクラブの定款が出来ました。その時、第一に事業利益増大。会員相互がスタートで、それが現代職業倫理を鼓舞しています。第二に親睦。通常の社交クラブの親睦で後から市民のためにと社会奉仕が第三に加わりました。1910 年に全米に 16 のクラブが出来、その連合体として全国 R C 連合綱領となりました。1912 年にロータリークラブ国際連合綱領となっていて、アメリカだけではなく世界にロータリーが広がってきた事がわかります。そして 1922 年に国際ロータリーとなり、

RI という名前と組織になりました。表のカッコは国際大会の開かれた場所です。1918 年の綱領にロータリーの目的と言う言葉が出てきました。職業倫理、奉仕の理想、社会奉仕、親睦、事業運営方法交換、職業奉仕等が含まれています。

1912 年のロータリークラブ国際連合が出来た時に標準 RC 定款細則も作られました。その中の綱領には 職業奉仕 職業倫理 事業運営方法交換 親睦 社会奉仕とあります。1915 年の標準 RC 定款細則の中には 奉仕の理想が追加されています。そして 1919 年には 職業倫理に追加としてロータリーの目的の項目 6 つが追加されています。表の下、ロータリーの標語と奉仕理念の変遷がありますので後で読んで見て下さい。ロータリーの歴史を綱領の変遷から見ると、ロータリーの漠然としたもの

が変わってくると思ひ紹介しました。

東日本大震災復興委員会報告 野澤委員長

皆さんからの協力で蕪島のトイレ来月 10 日頃完成します。2 月



20日 3:15 市長が来て、清払いと贈呈式を行います。財団の復興委員長の小沢一彦委員長も来て下さると、先日黒田先生よりアメリカから電話を頂きました。えんぶりの最終日でお忙しいでしょうが、是非皆様も立ち会ってください。

IM について 三川会長

今までの分区の会長幹事会で検討した流れと今日の次第を発表します。IM でなにをするか、幹事クラブの北 RC の方であらかじめ案を用意していました。他のクラブより案は出なくて会員増強についてのパネルディスカッションと決まりました。地区の目標、『ミラクル 1200 復興』で地区で 10% の会員増強を目標として進めたい。そのためにもディスカッションをと言う事です。メンバーはコーディネーターが源新和彦さん、アドバイザーが黒田正宏 RI 元理事、各クラブよりパネリストが出て 3 分ほど現在のクラブの取り組みを発表。その後、皆さんの意見を聞きます。また地区からの補助金 5 万円をどのように使っているかも発表。黒田 RI 元理事より RI の考え方や E クラブについてお話を聞く。コーディネーターはこれからどうして行くかを纏めるのではなく全体の会員の意識を高めたいとのことでした。

最後にクラブの皆さんに会員増強について提案がありましたら、出して頂きたいと思ひます。